



橙の里

DAIDAI NO SATO

多賀小学校だより No.3

令和6年5月31日

電話 68-2105

校訓「夢は大きく

はばたけ多賀っ子」

学校教育目標 「考えを伝え合おう みんなのためにやってみよう」

やってみよう

なんとかなる

ありがとう

ありのまま

行事の取り組みから学ぶこと

昨日のリレー集会は澄みきった青空の下、今までの練習の成果や児童の一生懸命さと本気さが全てのレースに表れた気持ちのよい行事となりました。地域の皆様からの温かいお声かけ、保護者の皆様のご家庭での励ましや体調管理の気遣い等、様々な方々に支えられて無事にリレー集会を終えられたことに感謝しています。ありがとうございました。

リレー集会を迎えるまでには、練習の時から様々な課題があったと思いますが、なんとか解決しようがんばっている姿をほほえましく見ていました。クラスのタイムが伸びて、興奮しながら自分たちのタイムについて語り合う姿や、バトン練習を他のクラスと工夫して行いアドバイスをし合っって切磋琢磨する姿や、隣のクラスと数秒差のタイム結果に一喜一憂する姿。仲間と共に高め合いながら成長していることを感じました。

当日は、各学年の成長段階に合った最高の姿のバトンパス、チームワーク、懸命に仲間を応援する姿、どれをとっても練習の成果が現れている児童の姿が見られました。勝負にこだわり悔し泣きをしている児童の姿もありました。本気でがんばったからこそ湧き出る純粹できれいな涙です。さらに彼らは、がんばってもうまくいかなかった貴重な体験をし、そこを乗り越える力強さをこれから養っていくことと思います。



私たちは、行事への取り組みを通して、自分たちから練習しようとする主体的な言動や目標に向かってチャレンジする気持ちを育てることもねらっています。仲間と考えや思いを伝え合い、自分も相手も認め合いながらともに目標に向かっていく姿勢は、児童たちがこれからの困難や苦難を乗り越え、幸せになっていくために身につけてほしい力です。児童たちが豊かで幸せな未来を創っていける力を育てられるよう、地域の皆様や保護者の皆様のお力添えをいただきながら、職員一同全力で取り組んでいきたいと思ひます。児童たちの成長を温かく見守っていただけたら幸いです。

【教頭 北澤 里美】

《地域の方からぞうきんをいただきました》

先日、多賀小学校の事務室に地域の方がいらっしゃいました。「児童のために使用してください」と手作りのぞうきんをたくさんいただきました。ぞうきんは色とりどりの糸を使用した手縫いで作られたものでした。一針一針児童のことをおもいながら作ってくれたのだと思うと感謝の気持ちでいっぱいです。地域の方にいつも助けられています。ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

